

インマヌエル中目黒キリスト教会
聖日礼拝

2009. 09. 13 /10:00-
5009. 09. 13 /10:00-

メッセージ

ピリピ書連講⑮

『ひたむきに前進！』

竿代照夫牧師

ピリピ人への手紙3章7-16節



聖書朗読

ピリピ人への手紙3章7-16節

新改訳聖書第3版・386ページ 第2版・353ページ

7 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。

8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくとと思っています。それは、私には、キリストを得、また、

9 キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。

10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、

11 どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。

12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして、追求しているのです。そして、それを得るようにとキリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

13 兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、

14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目標として一心に走っているのです。

15 ですから、成人である者はみな、このような考え方をしましょう。もし、あなたがたがどこかでこれと違った考え方をしているなら、神はそのこともあなたがたに明らかにしてください。

16 それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。

メッセージ
ピリピ書連講⑮
『ひたむきに前進！』

竿代照夫牧師
ピリピ人への手紙3章7-16節

テキスト：

「兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕らえたなどと考えるはしません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。」

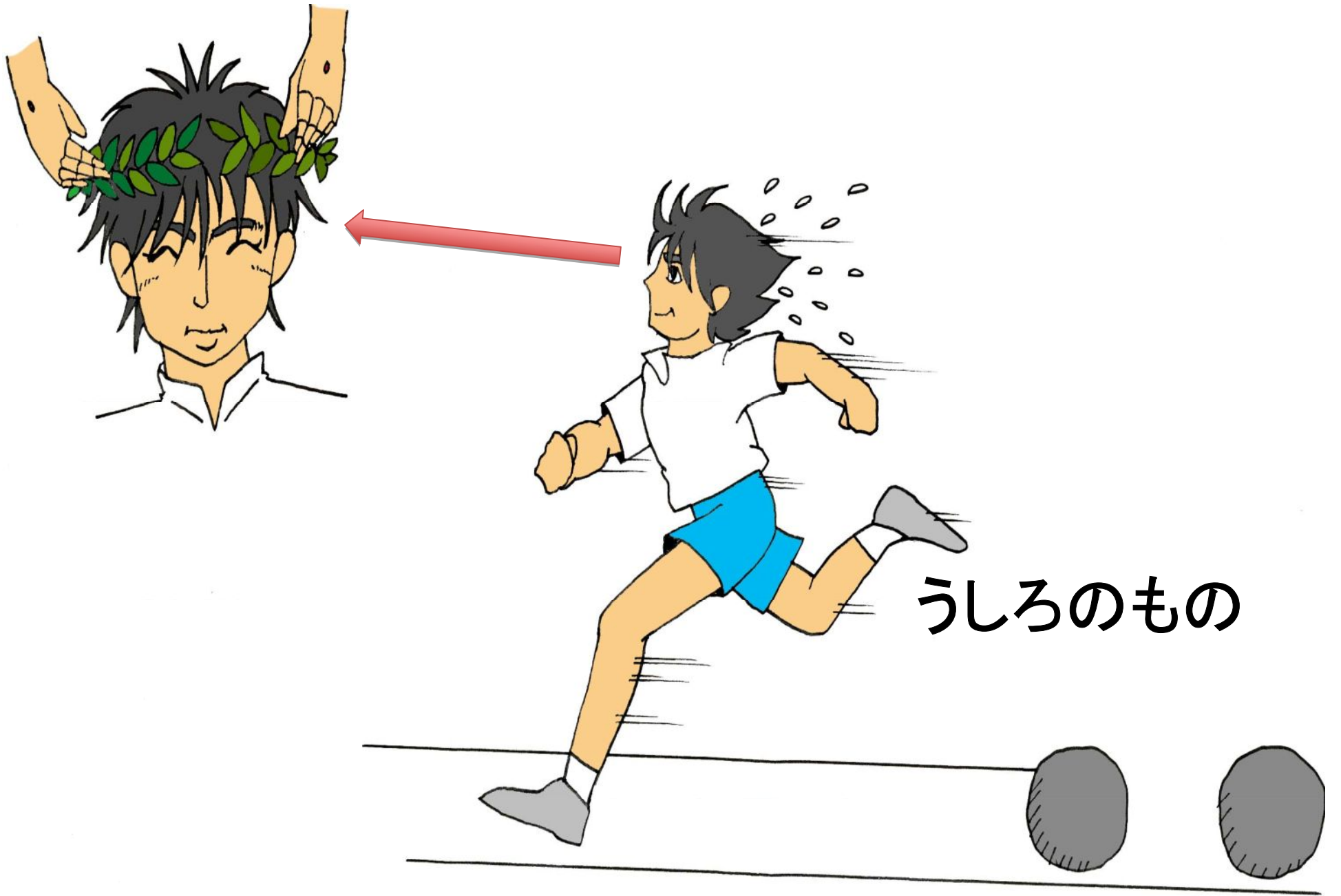
(ピリピ 3 : 13, 14)

はじめに：

「前向き人生」のパウロ

A. レースの目標 (7-11節)

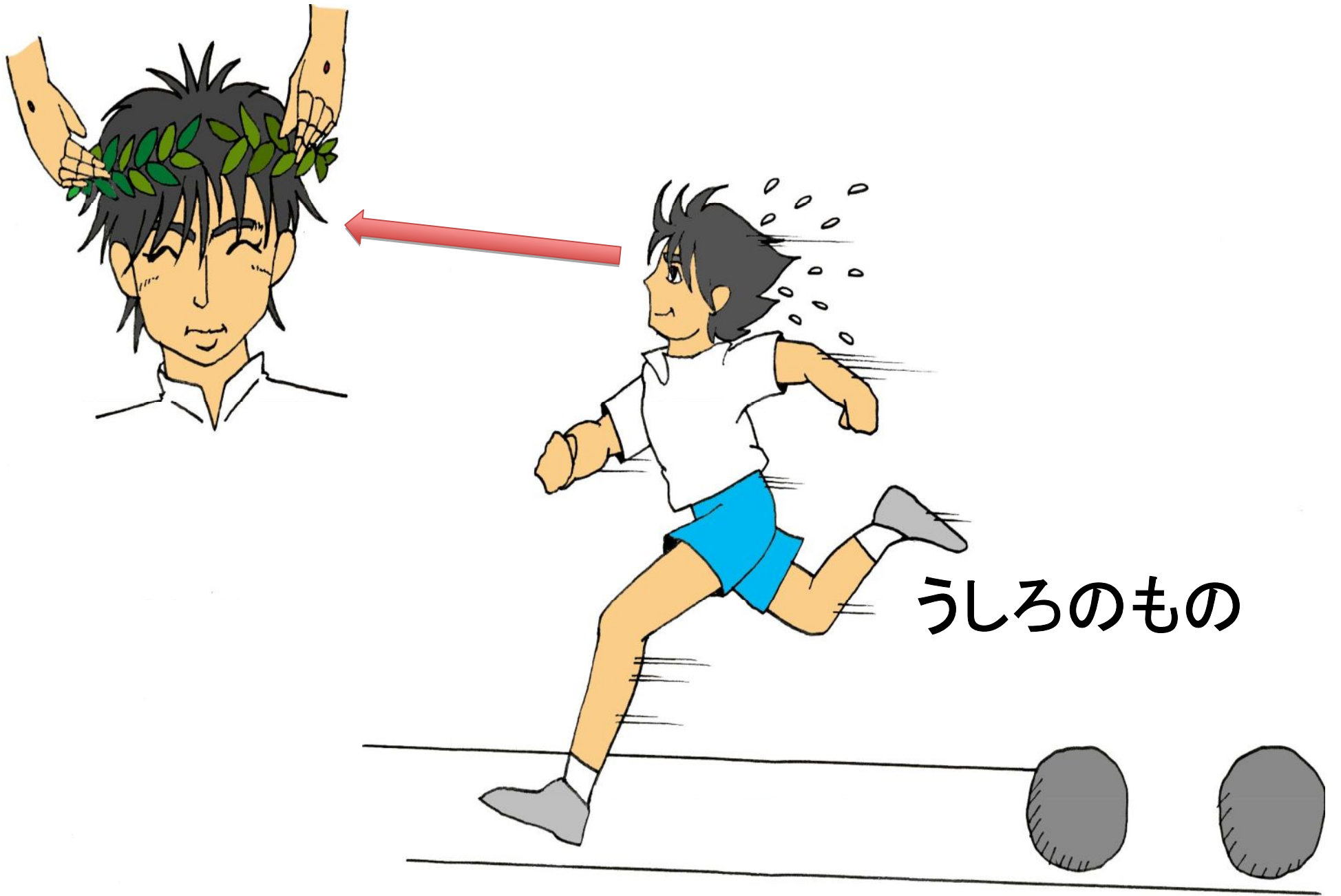
- 1) キリストの義が分け与えられる
(9節)
- 2) 苦難を通して復活の力を頂く
(10節)
- 3) 最終的な復活に与る
(11節)



うしろのもの

B. レースの走り方 (12-14節)

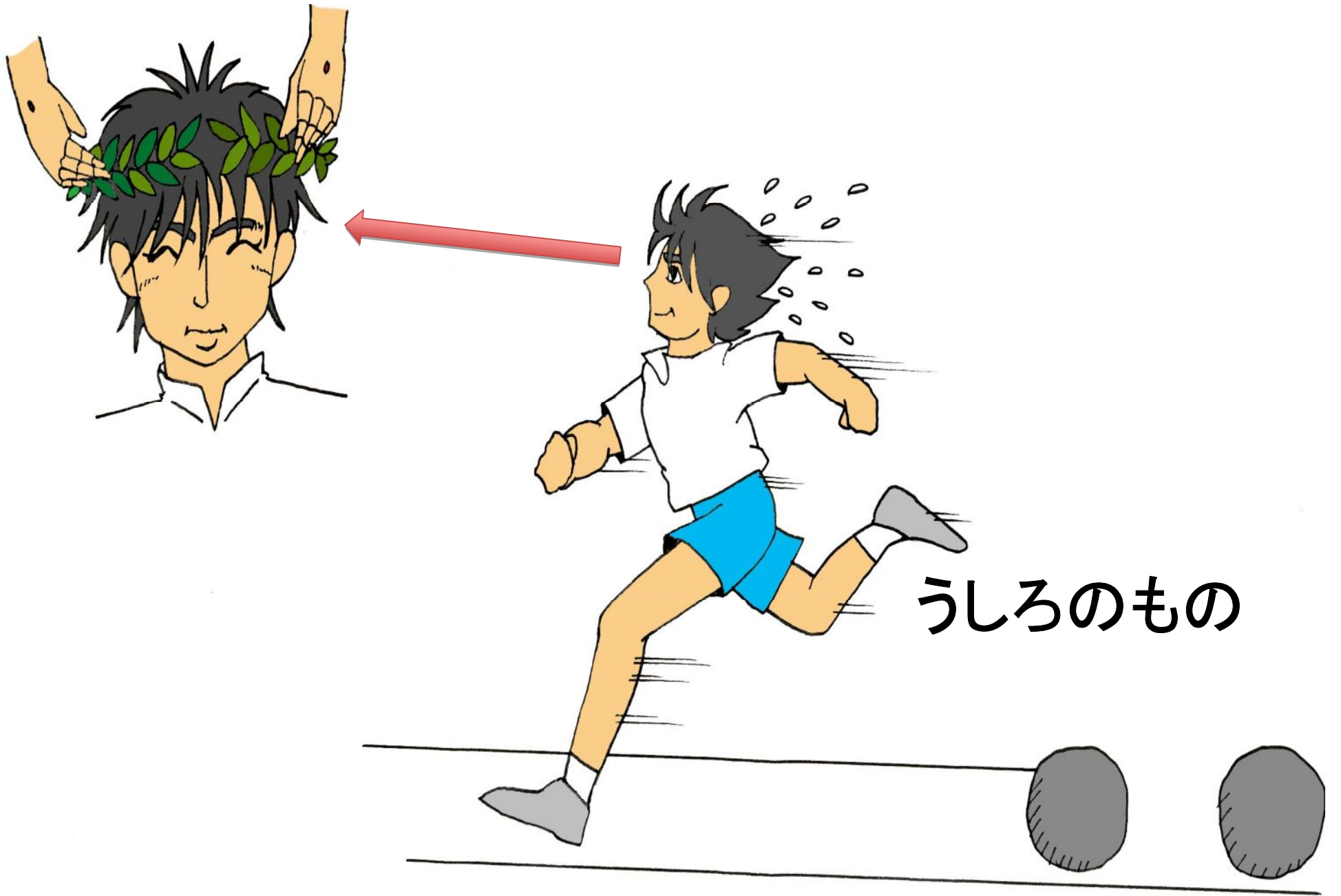
- ・ 前向きにストレッチ
- ・ 「未だ獲得していない」
色々獲得した恵みはあったが…
- ・ 飽くなき求道心：
救いを完成は未だ(2:12)
- ・ 後ろのものを忘れて：
過去の良き思いですら…
- ・ 恵みと努力の関係：
恵みが努力の原動力



うしろのもの

C. レース出場の資格 (15, 16節)

- 走るのはパウロだけではない
- 成人（完全なもの）が走る：
主に全く献げたものがレースに出る



うしろのもの

おわりに

- ・ 人生の目標を考えよう